

水稻生育情報 (No.5)

平成 26 年 7 月 10 日
県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

7 月上旬までの気温は平年並みかやや高く、降水量は梅雨入りした 6 月 2 半旬から 7 月第 1 半旬まで、平年よりも多くなりました。

向こう 1 ヶ月の天候は、前半が平年に比べて曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様で晴れの日が多い予報となっています。また、平均気温は平年並～やや高く、降水量は平年並～やや多い、日照時間は平年並み～やや少ない予報となっています。

管内の生育情報を下表に示します。草丈や茎数、葉色は平年並みとなっています。幼穂長の生育から、出穂はほぼ平年並みになることが予想されます。

7月10日現在の生育状況(コシヒカリ)

| 調査地点 | 田植え日 (月/日) | 植付株数 (本/坪) | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 葉色 | | 幼穂長 (mm) |
|--------------|---------------|---------------|------------|---------------------------|-------|--------|-------------|
| | | | | | 葉色板 | SPAD値 | |
| 筑西市 一本松 | 5月2日 | 59 | 77.6 | 582 | 4.2 | 29.1 | 5.5 |
| | (5月3日) | (65) | (81.4) | (527) | (3.6) | (30.1) | (12.7) |
| 下妻市 加養 | 5月2日 | 42 | 80.0 | 411 | 3.4 | 29.1 | 12.0 |
| | (5月3日) | (43) | (81.4) | (449) | (3.6) | (31.0) | (24.2) |
| 桜川市 元岩瀬 | 5月10日 | 64 | 72.4 | 510 | 3.9 | 34.5 | 3.7 |
| | (5月13日) | (58) | (74.7) | (524) | (4.1) | (34.8) | (1.5) |
| 桜川市 真壁町飯塚 | 5月8日 | 61 | 78.8 | 419 | 4.3 | 35.2 | 3.7 |
| | (5月5日) | (55) | (81.0) | (474) | (3.4) | (29.9) | (26.5) |

()内は平成21～25年(5ヵ年)の平均値
桜川市真壁町飯塚は昨年度の調査結果

【今後の主な栽培管理のポイント】

・高温期の水管理～間断かん水で根の活力維持～

中干し後の深水や常時湛水は根腐れなどの原因となります。間断かん水を行うことで、根腐れ防止や根の活力を維持することができます。

右図を参考に間断かん水を行って下さい。入水の目安は、砂質の土壌は田面に触れると湿り気を感じる程度で、粘質の土壌は水が付着する程度です。

また、出穂 30 日後まで間断かん水を行い、早期落水は行わないで下さい。早期落水は胴割れ米や登熟不良を助長し、品質を落とす要因となります。

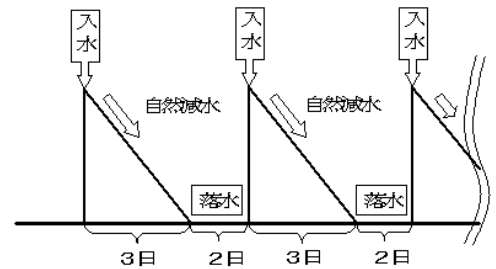


図 1 間断かん水の一例

・斑点米カメムシ類の防除

畦畔などに繁茂しているイネ科雑草はカメムシ類の生育場所となっています。被害を極力少なくするためにカメムシ類の生育密度を下げることが重要です。そこで、除草を出穂 10 日前までに行うようにしましょう。出穂後の草刈りはカメムシ類を水田内に追い込むことになり、被害を助長するので注意しましょう。

航空防除を行っていない地域では成虫の飛来期である出穂期～穂揃い期に薬剤による防除を行いましょ。発生が多い場合や例年被害の多い場所では幼虫の発生初期である出穂 20 日後に 2 回目の防除を行いましょ。



図 2 クモヘリカメムシ



図 3 カメムシによる被害 (斑点米)